

松下記念病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	軽度催吐性抗がん薬に対する予防的制吐療法におけるデキサメタゾンから 5-HT ₃ 受容体拮抗薬への変更による有効性及び安全性の比較 (No.25042)
当院の研究責任者 (所属)	村上 賢次 (薬剤部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	特記事項なし
本研究の目的	一部の LEC 薬剤(ゲムシタビン、ナブパクリタキセル、エリブリン、トラスツズマブ エムタンシン)を含むレジメンの制吐薬をデキサメタゾンから 5-HT ₃ 拮抗薬に変更することでがん化学療法に対する予防制吐療法への影響及び有効性、安全性について検証する。
調査データ 該当期間	2025 年 2 月から 2025 年 8 月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さま LEC 薬剤に対しデキサメタゾンから 5-HT₃拮抗薬 (グラニセトロン 1mg) に変更した患者を対象●利用する情報 電子カルテに記載のある服薬指導記録や診療記録、検査データ(アラニンアミノトランスフェラーゼ(AST)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(ALT)、総ビリルビン(T-Bil)、随時血糖、血圧)を利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	対応可能日時： 8：30 分～16：45 電話：06-6992-1231 担当者：村上 賢次 (薬剤部)